



—令和5年6月2日（金）15:00～16:40 音楽・文化交流館 大ホール—

【実践発表】 郡山市立安積第一小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～

スタートカリキュラムを意識した取り組み

・学校生活の様々な場面や各教科との関連を図りながら、子どもたちが学校生活に慣れ、安心して過ごせるための取り組みとして

- (1) 安積一小的スタートカリキュラム
- (2) 劇の様子
- (3) 各教科で
- (4) 6年生との交流
- (5) 給食
- (6) スタートカリキュラムの次に



安積第一小学校では、郡山市版スタートカリキュラムを基に、一学年のスタート時の教育活動を展開しています。大規模校で入学当初は新入学児童が戸惑う姿が見られるため、クラスカラーを決めるなど視覚的なサポートをしたり、二学年の児童と一緒に校内見学をしたりして、新入学児童の不安解消に努めています。また、一学年と六学年がペアになり「なかよし兄弟」のような関係をつくり、交流を図ることで居心地の良い環境を整えています。その他、生活科の授業では花の栽培を発展させ草木染めをした事例や（上の写真）、タブレットの活用についても紹介されました。

不登校の前兆についても触れ、スタート期のみならずその後の対応も重要なので、幼保小の連携が継続的に必要であるという提言がありました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 安積第一小学校の発表について

- ・入学した児童が、学校でどのように過ごしているか良く分かりました。とても丁寧に関わっている様子を知り、安心して小学校へ送り出せると思いました。
- ・花の栽培は育てるだけではなく、教師の言葉掛けや環境で草木染めの活動に発展したと思います。楽しみが増えれば、学校へ行く意欲も高まると思いますし、経験から多くのことを学ぶことと思います。
- ・保護者の方がボランティアで学校の活動に参加していることは、学校への理解も深まり、活動の幅も広がるのではないかと思います。大変参考になりました。

☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・幼稚園、保育所等の遊びを通じた活動を、小学校の教育活動へ繋げていくためにも、幼・保と小の連携と実践が必要だと思いました。

《参加者からのアンケートから》

- ・実践発表の中で、先生が笑顔で「学校探検の一番人気は理科室のガイコツ、2番人気は校長室のソファです！」と話していました。楽しそうにはしゃいでいる子ども達の姿が目につきました。（保育所：参加者）
- ・グループ討議では活発な意見交換が出来ました。もっと聞きたかったです。（保育所：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。